

第3回佐賀駅周辺整備構想検討会議 議事要旨

◆日時 平成28年7月25日(月) 13:30～15:07

◆場所 佐賀市文化交流プラザ エスプラッツホール

◆出席委員(敬称略、50音順。◎は座長、○は副座長)

◎荒牧軍治、伊豆哲也、井田政和、牛島秀凶、江上康男、○香月道生、熊谷明博、高木宏順、高田伸介、田口陽子、馬場久雄、福成有美、山下次男、横尾美香

◆欠席委員(敬称略)

安田みどり

◆アドバイザー

西村 浩(株ワークヴィジョンズ代表)

◆事務局

赤司副市長、古賀企画調整部長、志満建設部長、武藤企画調整部副部長兼企画政策課長、坂井経済部副部長兼商業振興課長、池田政策審議監、武久都市デザイン課長、星下企画政策課政策推進室長 外

◆議事要旨

1. 開会

2. 主催者あいさつ(赤司副市長)

3. 協議

(1) これからの街づくりにおける佐賀駅周辺地区の役割について

(2) 求められる交通機能について

《事務局説明》

- ・論点整理(事務局案)
- ・九州新幹線西九州ルートをめぐる現在の状況
- ・佐賀県総合運動場等整備基本計画検討委員会における検討状況
- ・市内バス路線の状況
- ・駅周辺に求められる機能と地域公共交通について(西村アドバイザー)

《意見交換》

○座長

総合運動場周辺の整備の話は、佐賀駅周辺整備構想に与えるインパクトも大きいと思う。

○委員

駅前複合ビルへのコンベンションホール整備という市長発言からスタートしたにも関わらず、北口・南口と論点がずれてきているのではないか。全体計画も必要とは思いますが、もっとコンベンション機能に絞込んだ議論をすべきだ。地権者の立場として、偏った意見であるとは思いますが、発言しておく。

○事務局

コンベンションについては、“民間資本を活用した駅周辺へのコンベンション機能整備”を市長がマニフェストに掲げていたもの。市文化会館等と連携して分科会場となるような会議室を駅周辺に整備し、会議招致を進めることにより、街なかを活性化する趣旨だった。ただし、民間開発が前提であって、地権者等との兼ね合いもあるため、行政主導では進められない話だと認識している。

このため、この委員会では、民間主導で検討されるコンベンション機能と併せて整備を検討すべき駅周辺の機能について、議論をお願いしたいと考えていた。

国体を見据えた県による総合運動場周辺の整備という大きな環境の変化が出てきた。今回、駅北口の整備という新たな提案を行ったのは、この環境の変化によって、駅周辺整備の内容や考え方も変わってくるためである。総合運動場周辺の集客力が拡大するのであれば、交通混雑を防ぐため、駅からの公共交通機能を見直す必要もあると考えている。

○座長

環境の変化を受けて、駅周辺ありきではなく、総合運動場周辺にコンベンション機能を持たせるという考え方も出てくるのではないか。

○事務局

市としては、駅への近接性、宿泊施設の充実などを考えれば、コンベンション機能は駅周辺が望ましいと考えている。

○委員

市がコンベンション構想を打ち出したので、地権者として駅前の土地を活かそうという話が出発点だった。

○座長

出発点はわかるが、これから総合運動場の整備の話などが動き出せば、当初の市の案を見直すことも必要になってくると思う。

コンベンション単体では街の活性化は難しい。コンベンションと組み合わせて検討すべき都市機能について、意見を求めたい。機能が決まれば、次はデザインや導線が課題になってくる。

まずは交通が課題だと思うが。

○委員

交流人口の視点からは、外国人にも優しい交通機能が必要だと思う。特に路線バスは、外国人にとって現状ではハードルが高い。

○委員

確認だが、複合コンベンションホールは前提で、プラスアルファを考えるということか。

○座長

スタートはそうだったが、前提ではない。

○事務局

市長マニフェストでもあり、市として協議はしているが、地権者を中心に検討されることであり、市が主導するものではない。

市としては、これと併せて行うべき駅周辺整備の方向性について会議で検討いただきたい。

○副座長

県の総合運動場等整備構想検討委員会で、コンサートも可能な多目的アリーナの話が出ているが、市文化会館と機能が重複するのではないか。

また、総合運動場周辺整備と駅周辺整備についての県と市のすり合わせをどう進めるのか。

○委員

県の検討委員会で話題が出ているアリーナは、体育館施設がメインで、文化会館とは機能が異なるという認識。造るかどうかも含めてこれから検討する段階だが、事務レベルでは県と市とで意見交換しながら進めている。

○座長

国体まであと7年しかない。これまではのんびり構えていたが、駅前広場の置き方や、公共交通機関をどうするかという課題は、7年後までには解決する必要がある。

○委員

駅北口の交通機能を伸ばしていくのであれば、課題である北口交差点の大幅な見直しや、バスと一般車の切り分けなど道路自体の見直しも検討が必要になる。

○委員

駅周辺にコンベンション施設を整備するのであれば、来街者と市民の接点として、広場と一緒に整備することが望ましい。南北軸を中心に来街者を増やしていく視点の中で駅前広場を考えるのは、都市工学的にも自然だ。

駅前の交通計画を見直すのであれば、スペースシンタックスなども考慮し、事前に補足的な調査を行うと良い。

○委員

駅周辺には空き地が少なく、交通機能を見直す上では、用地確保が課題になると思う。

提案だが、草場公園を上手く利用して、ショットガン方式のタクシープールとして整備してはどうか。草場公園は自治会管理だが、利用者も少なく、夜間の非行問題も発生しており、地元自治会が苦慮している。

○副座長

駅を貫く南北道路を整備するかどうかという議論があるが、市で検討したことはあるのか。

○事務局

道路、軌道含め、具体的に検討したことはない。技術的には、高架の地中梁が支障になると聞いている。

○座長

中央大通りは駅を突き抜けるもの、という感覚が市民にあるのは確かだが、国道 263 号線も拡幅されており、突き抜ける必要はないと思う。もちろん、お金を掛ければ、技術的には可能だ。

○委員

バスセンターの方面別乗り場の提案が出されたが、バス・タクシー協会と運行各社とで、すでに具体的検討に入っているところ。交通系 IC カード導入や消費税改定などとの兼ね合いで、いつから実施するかが課題。案内表示の見直しや、会社間でのダイヤ調整も含めて、検討していくことになる。

○委員

駅前にバス停が点在するのではなく、バスセンターに集約されている点で、佐賀駅は交通結節機能が高いと感じる。

駅周辺の交通機能を考える上で、歩く人が最優先、という観点が街づくりには重要で、JR 九州としても、各地元自治体に提案させてもらっているところ。

○座長

地元の短期大学生と県知事との意見交換で、佐賀駅には自分たちが憩える場所がないという意見が出ていた。駅を実際に利用している学生たちの貴重な意見で、行政は尊重すべきだと思う。

○座長

路線バスはジリ貧だというイメージを持たれているが、無人運転バスが開発されれば、運用コストが下がり、維持できるようになるかもしれない。7 年後に向けて、駅北口の 4 車線道路を使って、運行実験したら面白いと思う。将来的なコンパクトシティ構想にも寄与するのではないか。

国体も控えており、以前のように計画だけで終わることはできない。ひとつずつ方向性を出して実行していくことが求められている。新幹線の問題も、これから形が出てきた時点で設計図に反映しなくてはならない。

爆買い旅行客によるホテル不足や LCC 就航など、周辺環境の変化が我々の想像を超える時

代だ。佐賀市をどういう立ち位置の都市にするのか、そのポイントである駅周辺について、様々な問題を総合的に分析して議論を進める必要がある。

今後の議論の方向性について、次回に向けて事務局で十分に整理してもらいたい。

○アドバイザー

周りの状況が変化する中で、この会議が、市長マニフェストだからやるということではなく、こうしたほうがもっと良くなる、という意見を出す場になることを期待している。

交通再編の必要性は全員が感じていること。この会議の中で、駅前広場のあり方も決められれば良いと思う。

南北軸に明確な価値付けをして佐賀らしい街づくりを進める、という物語にも異論はないと思う。駅の南北を貫通させるかどうか、南北軸の価値を考える中で検討すれば良い。

コンベンション機能に関して、佐賀駅周辺にはビジネスホテルしかない。観光客対応などホテルのバリエーションがあった方が良く、その中に会議場があればコンベンション機能を果たすことができるのではないかと。

福岡のホテル不足は明らかだ。駅前のあの土地にコンベンション機能が欲しいということであれば、事業として持続可能なビジネスモデルを展開しないと、税金で維持する結果を招くことになる。そういう視点で民間施設のあり方を考えることが求められている。

今後の交通機能を考える上で、広場はセットで考える必要がある。委員が提案された、コンベンション施設と一緒に交流広場も重要な視点だ。

駅の北側は可能性を秘めている。空き地も多く、ホテルの立地も期待できる。車と公共交通と歩行者とをマネジメントしながら導線を作り、南北軸の北側と南側の価値をどのように住み分けて、人が暮らせる環境を創っていくかがポイントになると思う。

こうした議論の延長線上で、基本構想のあり方が見えてくる。今回、全体の議論ができたのは良かったと思う。

4. 閉会

次回開催時期については未定